

ケースを材料にして、初回セッションの前分析＋分析をして行きます。

<前分析>

① 印象 暗い。重苦しい。静か。自責の念。自己蔑視。最悪を考える。不眠。多くの身体不調。

② 健康度（1～3／10）～今にも死んでしまいそうな危ない感じ。

③ 予後

（良いレメディがある時）

最悪のことを考える傾向が減り、自分を厳しく責めすぎることがなくなり、自分の存在も認めることができるようになる。強すぎる責任感も適度になり、もっと自由に仕事にも生活にも向き合える。精神面が改善してゆくことで、多くの身体症状も次第に改善してゆく。

（良いレメディがない時）

鬱病（精神病）は、どんどん深まり、自傷行為（自殺）する可能性がある。身体面の症状は、このまま悪化してゆくか、または、もしかすると消えてゆくかも知れない。

（精神面の病気が深まることで身体症状が出せなくなり、健康度は下がる一方と思われる）

④ 救急性 慢性

⑤ 治癒を妨げているものは？ 薬物の影響はかなりあると思われる。

⑥ 親和性（部位）精神、顔、鼻、口、胃、腸、皮膚、神経、全体（温度変化）

⑦ マヤズム傾向 Syphilis（梅毒）

⑧ 全体性 慢性病 1 つ（薬の影響対策が必要かも？）

⑨ バイタリティー 2～5／10

◎際立った点（症状）をピックアップ～特に SRP 的なところ

精神面

- ・鬱／すべてに悲観的
- ・絶望／人生に嫌気がさしている。
- ・真面目過ぎる。自分に厳しすぎる。自責の念。自己軽蔑（自分を認められない）
- ・強すぎる責任感
- ・強い孤独感
- ・怒り／雷のように怒る

身体面

- ・不眠
- ・手が震える。（字が書けない）
- ・唇が腫れる
- ・鼻の内側に熱感
- ・胃がいつもキリキリ痛い。
- ・腸に熱感（炎症）
- ・全身の皮膚の色が黄色
- ・暑さにも寒さにも弱い。

・外気を欲する。

<分析／統合>

病の中心は、明らかに精神面にあり、それを病の中心と考える。

真面目過ぎ、理想も高過ぎ、完璧主義で、自分に厳しすぎ、自責の念が強すぎる。

特に自責の念というレベルを越えて、強い自己蔑視（自己否定）までしている。

どこまでやっても自分を認めることができないこと、そして自分の存在を認めてくれる人が誰もいないことに苦しんでいる。本来安心できるはずの家庭にも自分の居場所がなく、社会でも、仕事の進め方も完璧主義的で、過剰なほどの責任感を感じ、自分を追い詰め続けている。計り知れないほどの孤独の中に居る。

精神面の乱れと繋がっていると思われる非常に多くの身体症状もある。しかし、身体症状が多く出ているのは、悪いことではなく、救いがあるとも思われる。

今のままでは、仕事もできず、帰る場所もなく、自分の存在価値を見出すこともできないで、自殺すらしかねない。自殺の可能性に留意しつつ、精神面の乱れを癒すことが優先されると考える。マヤズム傾向は、Syphilis.（梅毒）である。

・・・こういうレメディを探す。

以上